日本医療機能評価機構認定病院

美山だより

第２３号
２０１３．６

社団医療法人　啓愛会

美　山　病　院

〒023-0132　奥州市水沢区羽田町字水無沢４９５－２
TEL　０１９７－２４－２１４１
FAX　０１９７－２４－２１４４
URL　http://www.keiaikai-miyama.jp/

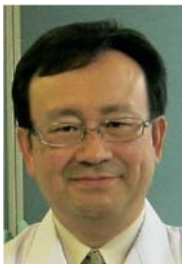
理　念

よき医療とやすらぎの環境

美山病院の基本方針

1・地域医療に貢献し、すべてのサービスに誇りと責任を持ち愛される病院になります。
2・医療人としてよりよい医療や看護が提供できるよう自己研鑽します。
3・安心した療養生活ができるように心の通った介護をいたします。
4・健全経営を確立し、常に個人と組織が向上する環境を保ちます。
5・病院組織をあげて医療の安全確保や感染対策に最善を尽くします。

ご挨拶



美山病院　副院長　吉﨑（よしざき）　陽（あきら）

このたび平成 25 年 4 月 1 日付で啓愛会　美山病院の副院長を拝命した吉﨑陽です。当院に勤務を始めて早くも 1 年が過ぎました。勤務を始めて間もないころは、初めての経験が多く右往左往しておりましたが半年を過ぎたころから周囲の様子が分かる（KY ができる）ようになり、このたび、このような責任ある仕事を仰せつかったことを感謝するとともに、身が引き締まる思いです。

この 1 年の勤務の間、機会あるごとに及川院長と意見の交換を行い、病院が掲げる**「緩和の心を全ての病棟に」というモットー**をより深く理解できたと考えています。

美山病院の医療の方針を規定する要因として、平均余命を超える長寿の方が多くの入院・通院患者様であるという事実があります。多くの方が壮年期に罹患するいわゆる成人病を乗り越え、さらにそのあとに来る人生の荒波を生き抜いて来られました。美山病院においては、こうした患者様に敬意を払い、さらに慰労を行うことを主眼とした医療が求められていることは自明です。深い共感と同情の念を持って行う医療がここに掲げられた「緩和の心を全ての病棟に」というモットーの主旨であると考えます。

自分自身も壮年期を過ぎ、確実に老年期に向かって年齢を重ねています。多くの患者様の生きる姿を師と仰ぎ礼を尽くし、的確な医療が提供できるように、すべてのスタッフと協力して医療に邁進する所存です。山道を上り詰めた所に忽然と現れた桃源郷のような医療施設、そんな理想郷を少しでも実現できるよう皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたく存じます。

―目　次―

1　P・・・ 吉﨑副院長　就任の挨拶
2　P・・・ 嚥下訓練の取り組みについて
3　P・・・ 平成２５年度の新職員紹介
4　P・・・ 看護体験　ボランティア活動　新ＣＴスキャン入れ替え　季節感じる病棟ホール

摂食・嚥下訓練の取り組みについて

摂食・嚥下障害ってなあに？

「摂食・嚥下障害」という言葉を聞いた事がありますか。飲み込むことが難しいとか食べる事が難しいという意味になりますが、 具体的にはどんな状態なのかイメージが湧かないかもしれません。「食べ物を食べる」というのは、そもそもどういう事なのでしょうか。

食べる事は、口が動く・物を飲み込む筋肉が動くというだけでは上手くいかないものです。私たちはまず、

1. 目の前の物が食べ物なのか・どんな種類の食べ物なのか等を目でみて確かめます。
2. それをどの位を、どの位のﾍﾟｰｽで口に運べばよいのかを頭の中で判断します。
3. 実際に口に入れたらこぼれないように口を閉じ、よく噛んでいきます。その時、舌も良く動かして飲み込み易い塊状に食べ物をつぶしていきます。
4. 舌で喉の奥のほうに食べ物を運んだら、ゴクンと飲み込みます。この時、食べ物が気管（肺への通り道）に行かないように、喉の奥の筋肉が協力して気管の入口を一時的に塞ぎます。
5. 飲み込まれた食べ物は胃のほうへ送られていきます。

「摂食・嚥下障害」は、上記の１～５のどこに問題があっても起こります。しかし、問題があれば絶対に食べられないのかというと、そうではありません。まず、どこに原因があるのか、何か工夫をすれば改善するのか等を相談・診断を受けることが大切です。

誰でもどんな状態になっても自分で口から食べたい願望がある

美山病院では患者様ご本人が食べ物や飲み物を口から食べる、飲むといった機能回復のために、摂食嚥下訓練をおこなっております。訓練はリハビリの担当スタッフがプログラムを作成し、担当の看護師と共に訓練していく事により、**経口摂取**〔食べること。飲むこと。〕が開始となります。

実例として、嚥下困難があり**胃ろう**〔腹壁を切開して胃内に管を通し、食物や水分や医薬品を流入させ投与するための処置〕の患者様御本人より「食べたい」と強い希望があり、主治医より訓練の指示の下に平成２５年１月半ばから訓練がスタートし、約２ヶ月で１日３食の食事を口から食べていただく事が出来るようになりました。今では、「**毎日のご飯が何よりも楽しみだ。**」とご本人様もお話されています。

今後も、口から食べる事が出来ると判断された患者様には出来るだけ口から物を食べたり飲む事の願望に応えれるようにスタッフ一同で取り組んで行きたいと思います。

職員紹介

新人職員をご紹介いたします。
各紹介内容は以下のとおりです。
①職名
②抱負

看 護 科

栁原　光恵

①1病棟　看護師
②様々な事を学び、自分のものとなるよう、努力していきたいと思います。

昆野　夏紀

①2東病棟　看護師
②患者さんに、安心、安全、安楽な看護を提供すること。

佐々木永子

①2 西病棟　准看護師
②これからお世話になります。がんばりますのでよろしくお願いします。

遠藤　美佳

①3 病棟　看護師
②患者様が安全、安楽に生活を送れるような看護をしていきたいです。

青山　しのぶ

①3 病棟　准看護師
②看護体験が今につながった事に感謝です。一生懸命がんばります。

リハビリテーション科

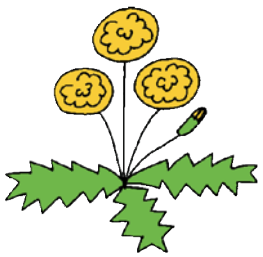
長谷川　智美

①理学療法士
②様々なことに積極的に挑戦し、一生懸命頑張ります。

栄養科

皆川　百合

①管理栄養士
②日々学ぶ姿勢を持ち、失敗を恐れず様々なことに挑戦していきたい。



5月17日ふれあい看護体験実施

夢への一歩前進

当院に３名の女子高生が（検温、血圧測定、手浴、足浴、食事介助、シーツ交換）体験をしました。緊張と不安から笑顔がなかなか出来なかったと感想で述べて頂きました。体験が夢への一歩前進となる機会になって頂ければと思います。お疲れ様でした。

ボランティア活動の様子

《緩和ケア病棟の屋上にて》

定期的に皆さん方がお出で頂き、市内の景色を堪能しながら、移植や水やり等をして頂きます。時には、患者さんも一緒に行動して同じ空気を味わっています。

新ＣＴスキャン入れ替え

（コンピュータ断層撮影装置）

H25年５月20日～23日の４日間で入れ替え作業を実施し、６月からの本稼働に向け、設置届けも済ませ、準備が整った。

（型式：ＳＯＭＡＴＯＭＥmotion６）

病棟ホールで季節感を味わう

（中に居ながらでも季節を味わう演出で一杯）

25年度の広報委員会のメンバーです

ガンバリマスので宜しくお願いします。